

① 学校運営の概況

学校教育目標

いのちの源を大切にし、自ら学び、たくましく生きる子供の育成

本年度の重点目標

「なりたい自分」「成長したい自分」を目指して、挑戦・努力を続ける子供の育成
～キャリア教育の推進を通して～

知 よく考え、
進んで学ぶ子供

徳 思いやりのある
やさしい子供

体 健康で
たくましい子供

<重点目標達成のためのアクションプラン>

◎目当てを立てて、
家庭学習をする
(学年×10分間以上) 90%



- 相手の思いを受け止め
話をしっかり聞く
- 自分の考えを分かりやすく伝える
- 進んで読書をする
(10分間×5日以上)
- 自分の目当てに向かって努力する

◎相手の気持ちを考えた
言葉かけや行動をする
90%



- 目を合わせて、元気に挨拶をする
- 協力して掃除をする
- 難しい課題でも挑戦し
粘り強く取り組む
- 全てのいのちを大切にし、
やさしい心で動植物に接する

◎メディアのルールを守る

ゲーム・動画視聴：下学年 平日1時間以内
上学年 1週間7時間以内90%



- 「みんなでチャレンジ3015」を達成する
- 進んで運動や外遊びをする
- 「早寝早起き朝ごはん」で
健康な体をつくる
- 危険を予測・判断し、
安全に行動する

② 生徒指導の重点

- ① 教師と児童の信頼関係の構築及び児童相互の好ましい人間関係の育成
- ② 自己有用感を基盤とした自尊感情を育てる場の工夫
- ③ 家庭・地域と連携した生徒指導の推進

③ 研修の計画

研修主題：人やものに主体的に関わり、対話的な学びを通して考えを深めていく子供の育成

主題解明の視点と内容

視点1 子供が主体的に学び合うための単元・題材構成の工夫（射水スタンダード～授業のABC～の徹底）

- ・教科間や将来へのつながり等を踏まえた教材・単元・題材構想の工夫
- ・付けたい力やねらいを明確にし、児童の実態に応じた単元・題材構成の工夫
- ・子供が目的意識や課題意識をもって人やものに関わり、意欲的に学びを進めていくことができる学習過程の工夫

視点2 対話的に学び、考えを深める手立ての工夫

- ・自分の考えをもつ場の設定
- ・子供の思いや考えを可視化、構造化することによる焦点化した話合いの場の設定
- ・ねらいに応じた学習形態や学習活動の工夫

視点3 高まりや成長が自覚できる評価の工夫

- ・学びの成果を子供自身が効果的に振り返り、実感できる評価の工夫
- ・一人一人の学習状況を把握し、教師が指導に生かす評価の工夫